

注 意 事 項

1 受付について

- (1) 競技場の開場時間は午前7時とする。
- (2) 両日ともチーム受付は行わない。リレーのオーダー用紙、領収書については、記録室に取りに来ること。

2 競技規則および申し合せ事項について

- (1) 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項に基づいて行う。
- (2) 本大会のスタート動作における競技規則については、国内適用で競技を行う。

3 招集について

- (1) 招集所は 100m ゴール地点付近に設ける。
- (2) 招集時にはアスリートビブス(ゼッケン)つけたユニフォームを着用した状態であること。
- (3) 招集時間は次の通りである。

トラック競技	競技開始時刻の 40 分前から開始し、20 分前に完了させる。
フィールド競技(棒高跳を除く)	競技開始時刻の 50 分前から開始し、30 分前に完了させる。
棒高跳	競技開始時刻の 90 分前から開始し、60 分前に完了させる。

- (4) 招集時間に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。
- (5) 事前に欠場者が判明している場合は、招集所へ報告すること。

4 リレー競技のオーダー用紙提出について

- (1) オーダー用紙は各チームで記録室まで取りに来ること。
- (2) 予選については、招集完了の 30 分前までに記録室へ提出すること。
- (3) 決勝については、競技開始時刻の 60 分前までに、記録室へ提出すること。
- (4) 提出時間に遅れたチームは棄権とみなし、出場を認めない。

5 アスリートビブス(ゼッケン)について

- (1) トラック競技・投擲競技については、胸背部に4点留めを行い、確実につけること。跳躍競技については、背または胸につけるだけでもよい。

6 腰ナンバーカードについて

- (1) 腰ナンバーカードは主催者で用意を行う。
- (2) トラック種目は腰ナンバーカードを右腰やや後方に数字がはっきりと確認できるように付けること。また、競技終了後は速やかに返却すること。

7 使用器具について

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、「ポール」と「投擲器具」、「リレー競技のマーク」については各団体から持参したものを使用してもよい。ただし、投擲器具については大会本部にて検定を受けること。なお、検定については両日とも次の時間に実施する。

検定時間	検定場所
8:10～8:25	南側器具庫前

8 競技について

- (1) 競技用シューズについては、競技規則 TR5.2 を適用する。競技に使用するシューズが適用するかは、各自で「ワールドアスレティックス承認シューズリスト」上で事前に確認すること。規定外のシューズ使用者については、「失格扱い」とする。
※参考「<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>」
- (2) トラック・フィールドともにスパイクのピンの長さは 7mm 以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以下のものを使用すること。トラック競技において、ゴール後は正面スタンド裏を通行し、各団体ベンチに戻ること。その際、正面スタンド裏をスパイクで通行することは禁止する。
- (3) トラック競技については、計時は全て写真判定装置を使用する。
- (4) 選手及び団体関係者はスマートフォン、ビデオ等の情報通信機器類を招集所及び競技場所に持ち込むことはできない。また、撮影については注意事項第 13 項を参照し、遵守すること。
- (5) 競技中のケガ等については応急処置を行うが、その後は各団体で対処すること。以後の責任は一切負わない。
- (6) 競技者は、競技場所から勝手に離れることはできない。
- (7) 競技のレーン順およびフィールド競技の試技順については、すべてプログラム記載どおりに行う。
- (8) 800m の 9～11 人目(腰ナンバーカード 9～11)の選手については、8 レーン, 7 レーン, 1 レーンの順に入る。また、スタート位置は、それぞれのレーンの外側とする。
- (9) 長距離競技の給水は主催者が用意する。ただし、給水係は出場選手のチームから派遣すること。
- (10) フィールド競技は、全ての試技について計測を行う。
- (11) 棒高跳については、天候不良の(予想される)場合、競技時間を変更することもある。
- (12) 走幅跳は 2 ピットで行う。また、三段跳の踏切板は男子 10m、女子 8m とする。
- (13) 高さの競技におけるバーの上げ方については、原則枠内の通りとする。

【男子】

○走高跳 ※練習: 1m50/1m80

1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	1m98
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

※以降 3cm ずつ

○棒高跳 ※練習: 3m00/3m40/4m00

3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	以降 10cm ずつ
------	------	------	------	------	------	------------

【女子】

○走高跳 ※練習: 1m30/1m50

1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68
------	------	------	------	------	------	------	------	------

※以降 3cm ずつ

○棒高跳 ※練習: 1m80/2m20

1m80	2m00	2m20	※以降 10cm ずつ
------	------	------	-------------

- (14) トラック競技とフィールド競技に重複して出場する選手はトラック競技を優先する。その場合、事前にフィールド競技役員に許可を得ること。
- (15) 写真判定器に不備が生じた場合は、再レースを行うことがある。

9 競技場での練習について

- (1) 競技場内の練習については競技会開始時刻の 20 分前までとする。ただし、競技会の準備に支障のない範囲で行うこと。
- (2) 競技会中の練習については、競技に支障がない範囲でバックストレートでの練習を認める。また、長距離種目の競技中については、6～8レーンのみ使用してもよい。ただし、スタート時及びバックストレートを競技者が通過中は練習を禁止する。また、逆走も禁止とする。その他、大会役員からの指示があった場合には速やかに従うこと。なお、最小限の人数、利用にすること。
- (3) 本競技会に参加していない者の競技場内での練習は一切認めない。
- (4) 競技場周辺での練習については、公園利用者等に迷惑になるような行動は慎むこと。
- (5) 雨天走路について、

ア 晴天時

原則、立入禁止とする。

イ 雨天時

主催者の指示に従って安全に使用する。
 使用する場合はルールを遵守し、事故等の起らないように利用すること。ルールを違反したり、事故等が起こったりした場合には使用を禁止する場合がある。また、事故発生時における応急処置を行うが、その後は各団体で対処すること。責任は一切負わない。



※雨天走路における

**ジョグ
スタプロ
動き作り
は禁止する。**

10 応援について

- (1) 競技区域や立入禁止区域、カラーコーンなどで規制された区域には入らないこと。また、応援場所については、指定された場所(「12 各出場団体の待機場所について」参照)で行う。
- (2) フィールド競技については、コーチングゾーンを設ける。競技中の選手に対する助言はコーチングゾーンから行うこと。なお、コーチングゾーンに常駐することはできない。
- (3) バックストレート側の第2コーナーから第3コーナーにかけて、カラーコーンで規制された区域には一切立ち入ることができない。また、棒高跳のコーチングゾーンについては、大会役員から指示を受けたエリアから行うこと。
- (4) メガホンなどを使用した集団応援は禁止する。
- (5) 競技の進行に支障のある応援を禁止する。特にスタート時は静粛にすること。
- (6) 正面スタンド最前列での立った状態での応援を禁止する。
- (7) ゴミについては、各自で責任を持って自宅へ持ち帰ること。

11 各団体の待機場所及び保護者等の応援席について

- (1) 正面スタンドの利用方法は下記の通りとする。

長椅子(ブラウン)	高等学校選手
青ベンチ	小・中学校、大学、その他団体選手
青ベンチ(放送室付近)及び土手面	保護者等の観戦者

- (2) 禁止区域内及び競技場外にベンチ及びテントを設置しないこと。競技場内土手面にテントを設置する場合は、風により飛ばされることがないように必ず固定すること。
- (3) 待機場所での荷物・貴重品の管理には各自十分に注意すること。盗難・紛失等について、一切責任を負わない。
- (4) 待機場所においても熱中症等に十分注意し、体調管理に留意すること。
- (5) ゴール周辺やスタンド裏に荷物を置いたり、待機したりすることはできない。
- (6) 待機場所でのマナーなどについて、主催者の注意に従わない場合は選手、観戦者問わず、退場させることもある。

12 写真・ビデオ撮影について

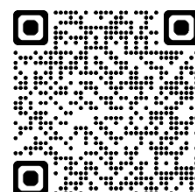
- (1) 選手の人権保護・肖像権保護のため、競技会における写真・ビデオ撮影について、御理解と御協力をお願いします。各団体の関係者等が撮影を希望する場合は、必ず本部で許可を得ること。その際、撮影者は撮影者用ビブスを着用する。

<観客席からの撮影制限>

- 観客席での撮影を禁止する区域は下記の通りです。
 - 各種目のスタート後方
 - 走高跳、走幅跳・三段跳・棒高跳の助走後方・着地前方
 - 走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)
- 保護者および本人の了解がない撮影、SNS や HP への掲載を禁止します。
- 選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりする間や体を動かしているなどの競技以外の場面の撮影を禁止します。
- 上記の内容及びその他、選手や関係者などの他者を傷つけたり、迷惑をかけたりする行為と主催者が判断した場合は、速やかに警察および関係機関に連絡をとります。

14 競技の番組編成及び大会結果速報について

- (1) 下記の東三河陸上競技協会ホームページで確認すること。
- (2) タイムによる次のラウンドへ進む出場者の決定について、同記録があり、レーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が同記録の写真について判定して、出場者を決定する。それでもなお決定できない場合は、抽選とする。その他の同記録の場合も同様とする。



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。
これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター